

あたら

A d a t a r a

題字 所長 西井 昇

Photo JICA 二本松の草刈り風景

二本松青年海外協力隊訓練所 JICA二本松ニュースレター

2007年夏号(第7号)
—季刊年4回発行—

泉崎村長 (小林 日出夫氏) ごあいさつ ...②

W.W.W. ワールドワイドなわたし達... ③
「福島県立富岡高校 2007」

シリーズ連載 **せかいのくから「シリア」** ...⑤

福島出身の候補生 6名 ...⑦

草地畜産開発コース実施中

西郷村の「家畜改良センター」で研修が始まりました。
写真左からサモア、ケニア、マラウイ、カンボジアの世界4ヶ
国からの研修員が学んでいます。

泉崎村長のあいさつ

泉崎村の国際交流



泉崎村長
小林日出夫 氏

泉崎村では、平成元年にオーストラリア・テモラ町と友好姉妹都市を締結し、以来本村（人口6800人）とテモラ町（人口6600人）の小さな街どうしの心温まる交流が続いています。

村の基本理念は「結いの精神」です。お互いに助け合い手を取り合って生きていくと言う、「助け合う心」を柱として、心の優しさ、心の豊かさを国際交流活動に生かしています。

主な事業は、「小学生異文化体験事業」、「レシテーションコンテスト」、「テモラ町派遣団」、「村独自のALT配置」、「外国人への日本語講座・日本料理教室」、「スポーツ教室外国人活用」、「幼児英会話教室」などであり、様々な分野で交流を深めています。

今回、泉崎第一及び第二小学校6年生の70名がJICA二本松で国際理解の宿泊研修を行いました。遠い国の問題と考えていた

貧困、紛争、環境破壊、エイズ、食糧問題などを身近に感じた様子でした。

今後、国際化が進む社会情勢においては、国や地域を越えた協力とお互いの理解が必要であります。本村の、手を取り助け合う「結いの精神」は、時代に必要な心であり、これからも熱いメッセージとして広く世界に発信してまいります。

泉崎村長 小林日出夫



▲テモラ町自治区100周年記念式典 ナラブラ祭、記念樹の植樹（平成18年8月テモラ町）

施設見学の「窓」

「いざ、国際協力を日本の文化に！」

初！！ 泉崎村教育委員会と共に
泉崎村第1小学校、第2小学校の地球探検隊 来所！

泉崎村教育委員会は、ALT教師と共に地球探検隊の施設利用を試みました。今回は、JICA二本松とどんなプログラムを行ったのか、その様子を紹介いたします！

1日目



▲貿易ゲーム、マーケット取引の様子

「貿易ゲーム」では、まず「先進国、途上国とは何か？」を学び、実際に貿易を行いながら、仮想と現実の世界を体験しました。これを通して、お互いが豊かになるにはどうしたらいいのかを考えて、・・・「助け合う、協力し合う、お互いに仲良くする」など、みんなからの声が集まりました。

- 出発式
- 国際理解プログラム1
青年海外協力隊の話
(グアテマラ、ウガンダ、マーシャル)
- 国際理解プログラム2
貿易ゲーム
- テリー先生 (ALT) の学集会など

2日目

「世界のカレーについて」特にスリランカの文化・食と共に、それぞれの我が家のカレーの食べ方（スパイス）が話題になりました。皆さんの家はどんなカレーですか？そして、礼儀作法と共に手で食べる方法を学び実際に体験しました。みんな上手に食べる事ができたかな？



▲カレーを手で食べてみよう！ 体験中の様子

- 英語でラジオ体操！
- 国際理解プログラム3
語学レッスン
(元隊員より、タイ語、ネパール語)
- 国際理解プログラム4
世界のカレー（スリランカ）
- 終了式

研修員だより

「医療器材管理・保守（基礎）コース（中南米）」

真剣な表情で心臓マッサージや人工呼吸に取り組んでいるのは、中南米からの研修員9人。6月8日に郡山消防署の協力で行われた訓練です。最初は動きがぎこちなかったものの、もともと医療関連の仕事をしているだけに要領を覚えるのは早

く、指導をする消防署員も熱が入っていきました。

訓練後は打って変わって、はしご車にぶらさがって記念撮影をするのはしゃぎぶり。国も年齢も関係なく、消防士は憧れの存在のようです。



▲救急法の訓練を体験

JICAデスク — 徒然なるままに…

国際理解指導者研修会 実施しました

国際理解教育ってどんな視点で、何を目標として、どんな評価をすればよいの？そんな声を学校現場の教員などからよく聞きます。

そんな声にお答えし、学校現場において国際理解のねらいと目的をどう定めるのか、どんな手法が使えるのかを講義と参加型ワークショップで解いていく国際理解指導者研修会を実施しています。

6月23日にはJICA二本松を会場に「高校で国際理解教育を効果的に進めるためには？」と題し、拓殖大学国際開発センターの小貫 仁先生を講師に研修会を行いました。

国際理解教育の学習領域として小貫氏から提示された4構造。

- 世界はいろいろ（A多文化社会）
～文化理解・文化交流・多文化共生～
- みんなつながりあっている

（Bグローバル社会）
～私たちと世界のつながり・情報化～

- 私の安全、世界の平和

（C地球的課題）

- ～人権・環境・平和・開発～
- 変えるのは私たち（D未来への選択）
～歴史認識・市民意識・参加協力～

これまで、外国人講師を呼んで話を聞く、外国について調べ学習をし発表する、世界と日本の違いについて調べ、日本の良さを知る。そんな内容で進めていたという参加者も、今回学んだ事を生かし生徒自らの気づきをうながせるような授業を行ってほしいとの声が寄せられました。

JICAが行う国際協力。その担い手を育てるためにも、国際交流や異文化理解から、世界とのつながりを考え、地球的課題への問題意識を持ち、行動に移す。そんな流れのある

国際理解教育・開発教育が学校現場で展開されることを期待しています。

次号は、開発途上国の現場を学校に還元。福島県教員5名による教師海外研修バングラデシュ派遣の報告です！



国際協力や NGO のご相談は…

JICA と福島県の連携促進など、各種ご相談を「国際協力推進員」が承ります。ご連絡は下記までお願いします。

財福島県国際交流協会 JICA デスク 橋本千賀子 TEL：024-524-1315 / FAX：024-521-8308 / URL <http://www.worldvillage.org/>

W.W.W. ワールドワイドなわたし達…

福島県立富岡高校 ～「日本文化を伝える」の巻

ケニア、マラウイ、サモア、カンボジア。言葉も文化も異なる人々に、日本文化をいかに伝えるか、今回は、「家畜改良センター」（西白河郡）で実施中のJICA研修「草地畜産開発」の研修員を招いて、書道を教えることに挑戦。道具の使い方や漢字の意

味を英語で説明してみせました。最初は名前をカタカナで書いていた研修員たちの興味は次第にエスカレート。家畜の仕事をしているだけあって、最後に色紙にしたための言葉は「鶏肉大好き」。





◆所長イラスト：青年海外協力隊 平成18年度1次隊 廣瀬智子さん



所長雑感

JICA二本松所長 筒井 昇

最近「不都合な真実」という映画を見ました。地球温暖化に警鐘を鳴らす、元米国副大統領アル・ゴア氏の著作の映画化です。ゴア氏のプレゼンテーション能力のすばらしさには舌を巻きますが、それにもましてこの映画の持つメッセージは強烈でした。この映画を見ていますと、生物が生息する類まれなる惑星のひとつである地球が、温室効果ガスのために悲鳴をあげている様子がよくわかります。すでに世界各地で気候変動による旱魃や洪水が起こっていますので、このまま地球温暖化を放置していれば、いずれ近い将来には、未曾有の大災害や人類存亡の危機を迎えることになるかもしれないのです。しかし、ほとんどの人は自分の世代ではそんなことは絶対起こらないと信じているのか、他人事のように豊かで快適な生活を追求してやみません。

地球温暖化防止への世界的な取り組みは、1997年の12月に「気候変動枠組条約第3回締結国会議」が京都で開催され、先進国の温室効果ガスの削減目標を定めた「京都議定書」が採択されました。日本は6%の削減を約束しましたが、最も温室効果ガスを出している米国やオーストラリア、中国、インドなどが同議定書を批准していないこ

とから、その効果が疑問視されています。

では、われわれ個人レベルで地球温暖化防止対策に、どのように取り組んでいったらよいのでしょうか。まず人口比で最も影響力のある団塊の世代から、大量消費生活に別れを告げ、できるだけゴミや二酸化炭素等を出さない地球環境にやさしい生活に変えていかなければなりません。社会の第一線を退いた多くのシニア層が、自然と共生する田舎暮らしに向かえば一番効果的ですが、便利な都会暮らしを捨て切れない人もいますので、まず両者とも質素で清貧な暮らしを目指すことが大切です。

また、我々は現代の車優先社会を見直し、ウォーキングや自転車や公共輸送機関を積極的に利用する生活に変えていかなければなりません。

都会では、行政や民間企業が欧州のように路面電車（トラム）を走らせ、歩道にはオープン・カフェがある、歩いて楽しい魅力ある街並みを再現できればすばらしいと思います。レストランでの食事やスーパーでの買い物はマイ箸やマイバックで、服や日用品はフリーマーケットで調達し、本や新聞は図書館や古本屋で読む慎ましい暮

らしも悪くない。家庭の電気はソーラーパネルによる発電が理想ですが、経費的に難しければ現行システムで節電・節水の工夫をすればよいのです。

地方ではできるかぎり路面電車などの公共交通機関を復活させ、車への依存を減らす努力が必要です。マイカーを減らすには、バスなどの公共交通機関の充実が欠かせませんが、排気ガスの少ないエタノール入りのディーゼル車を走らせることも重要です。マイカーがどうしても必要な場合はハイブリット・カーやエコカーにするとか、通勤にはカー・シェアリング（車の共用）やパーク・アンド・ライド（公共交通機関まで車で行って、電車等に乗る）などの工夫も必要です。

将来は電気・水素自動車が主になるでしょうから、それまではエタノール車や天然ガスを燃料とした車も有効ではないでしょうか。



▲訓練所の草を刈る筒井所長

ひとの動き

新任



6月4日
立原 佳和
業務T主査



6月4日
佐藤 正美
総務T経理

退任



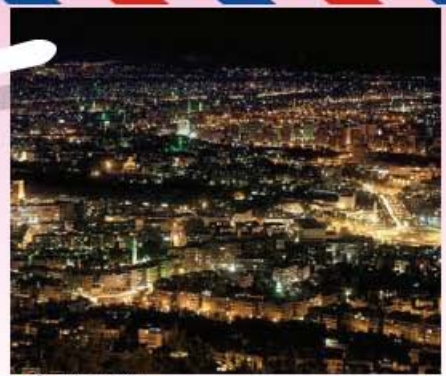
7月31日
吉田 順一
総務T経理

せかいのくから [第7回]



私のふるさと —シリア・アラブ共和国

アラビア語 語学講師 サフワン



▲ダマスカスの夜景

「シリア・アラブ共和国」は中東に位置し、西はレバノン、南西にパレスチナ、南にヨルダン、東にイラク、北にトルコ、とそれぞれ国境を接しています。

1936年にフランス領から独立し、ダマスカスを首都としています。

近郊のテル・ラマド遺跡からは、紀元前8,000年～10,000年の居住跡が発見されており、ダマスカスが世界で最も古い居住地であったことがわかりま

す。

シリアでは他のアラブ諸国でも公用語となっている「アラビア語」を話す国民が約1,900万人ほどいます。

歴史的にはレバノン、パレスチナ、ヨルダンの一部を含んでいた時期もあり、この地域は「グレート・シリア」、アラビア語で「BILAD AL SHAM」と呼ばれています。

首都の人口は500万人で、150万人

が市外から通勤してきています。

ダマスカス市は、いつでもお客さんを温かく迎え入れてくれるので、道に迷うことはなく、古い壁に囲まれた旧市街では、バザールやクラフトショップ有名なウマヤド・モスクなどを楽しむことができます。

旧さと新しさが混在している「ダマスカス」、ぜひみなさんも来てみませんか?

次回予告 スワヒリ語 語学講師 エスター先生 …タンザニアの話をどうぞお楽しみに!!



シリア・アラブ共和国

シリア・アラブ共和国 Data

面積: 18.5 万平方キロメートル
(日本の約半分)
人口: 1,836 万人
(2006 年シリア統計局推定)
首都: ダマスカス
通貨: シリア・ポンド
1 ドル = 52.8 シリア・ポンド
(公定レート) (2005 年世銀)



World Quiz ワールドクイズ

- Q 中近東のシリアでは、雪が降ることがあるのでしょうか?
- ①1年に1回以上降る。
 - ②10年に1回くらい降る。
 - ③観測史上降ったことがない。
- 答えは●ページに

大きな櫛とカラスの子

— 進路相談室の窓から —

進路相談カウンセリング室は、郡山市清水台の郡山商工会議所会館ビルの5階(512室)にあります。郡山駅からだいたい6～7分。国道4号線を越えれば、すぐです。

商工会議所の建つ一帯は、昔「血沼」という沼でした。この沼の水が飲料に用いられていた時代もあるようです。想像することも難しい変わりようですが、その昔、ひっきりとした沼のほとりにおった、ひときり大きい櫛だけは、さらに古色を増し、商工会議所の入口に今もギビ



風をねだるヒナ▲

え立っています……。

私(カウンセラー・柴崎)が着任した5月の初め、新緑の大櫛の梢に、大ぶりの鳥の巣が出来ていました。5階の窓と、ほぼ同じ高さです。風の強い日で、横に張り出した枝上の巣は、大きく揺す

られ、その中で必死に(?)抱卵していたのはカラス(ハシボンガラス)でした……。

以来、お互いに無関心を装ったのつき合いが続き(礼儀です)、この経過の中で知り得たことは、いろいろとあって語りきれません(ので省きます)。

現代の街のカラスにも適応的の少子化が起こっているらしく、結局、6月半ばに巣立って行ったのは、2羽でした。

身につまされるいくつもの教えを残し、空っぽの巣が今は夏葉に埋まろうとしているカウンセリング室の窓辺です……。

進路相談カウンセラー 柴崎 茂

JICA用語ミニ知識 Q「J統合」とは?

A. 来年10月に予定されている「JICA」と「JBIC」(国際協力銀行)統合のこと。この統合により「新JICA」は世界トップクラスの二国間援助機関となります。



坂本 拓馬

(出身地：郡山市、
派遣予定国：エジプト、職種：美術)

最初に青年海外協力隊を知ったのは中学校の社会の授業でした。

東京の美術大学に進学し、美術の概念を学びました。美術とは、描くことでなく、表現すること。具象以上の表現も可能であるし、とらえかたもできます。

約2ヶ月の訓練の後、2年間の派遣となるわけですが、生活や文化の面では不安はあります。ただ、すべての人に表現の無限さを知って欲しいし、期待の方が大きいです。現地の人達には勿論、自分にとっても有意義になることを信じています。



佐藤 美幸 (出身地：福島市、派遣予定国：エジプト、職種：手工芸)

抱負は、言語が全く分からないので任国に行くまでには、買い物ができるくらいにはなりたいです。

任国に行ってから、学生時代に習得した和裁洋裁の他に、福島県奥会津昭和村で教わった‘からむし織’の知識などを生かせるようにお土産物などの商品開発をがんばっていきたいと思います。



三上 博史

(出身地：須賀川市、
派遣予定国：エジプト、職種：体育)

高校での2年間の教員生活。教師の不祥事が後を絶たない現在、教師とはどうあるべきかを自分自身に問いただした。大の大人が善悪の判断ができない世の中、何が善で何が悪か分からない時代。

大学を卒業する年に青年海外協力隊を受験しましたが、見事に落選、今回2度目の受験で青年海外協力隊に参加することができました。

エジプト アレキサンドリアという都市でスポーツ指導を行います。青年海外協力隊の私なりの魅力は、自分が持っている知識や技術が必要とされている途上国の国々の人たちに役立ててもらえる。そして、何よりも自分自身が成長できる場所にあると思っています。エジプトに私が持っていることで必要とされていることはすべて置いてきます。それと同時に私は青年海外協力隊でしか得ることのできない貴重な体験を持ち帰りたいと考えています。エジプトのためと言ってもはげさですが発展に少しでも貢献できて、自分自身をも成長させることができる！素晴らしいことだと思いませんか？協力隊参加を応援してくださる全ての方々、本当にありがとうございます。2年後、一回りも二回りも大きくなって帰国したいと思います。

福島出身の候補生

平成19年度2次隊 (二本松青年海外協力隊訓練所)

世界中の人々に、ほんとうの愛を送りたい・・・

187名の候補生が
7月11日に入所しました。



須永 由華

(出身地：白河市、
派遣予定国：モロッコ、職種：助産師)

学生時代から国際協力に興味を持ち、助産師となりました。産科、新生児集中治療室で働いてきた中で、命とは、といったような事や、看護の原点について考えたいと思い今回青年海外協力隊に応募し、モロッコに助産師として派遣される事となりました。

現地のスタッフと一緒に現地の母子にとってよりよい母子保健事業を提供できるよう、共に同じ目標に向かって歩いていけたらと思います。



戸川 弘子

(出身地：南相馬市、
派遣予定国：ザンビア、職種：体育)

志望動機は、海外で将来に生かせるような活動をしたい、世界中の人と接したいということです。抱負は、行ったことのない国での活動のため健康の維持やコミュニケーション能力等、自分自身の課題が沢山ある中で、派遣国で求められることと、今の自分に何ができるのかということを考えながら、少しでも現地の人たちのために活動したいと思います。



湯野澤 いづみ

(出身地：福島市、
派遣予定国：ガーナ、職種：手工芸)

ボランティア経験者の話を聞き、協力隊に興味を持ったのがきっかけでした。すぐにでも試験を受けて行きたい気持ちもありましたが、将来のことも考えると日本での社会人経験を積むことも必要と思い、東京で5年間働いたあと、二本松での訓練に入りました。

「人への思いやりと感謝を忘れないこと」

「とにかくやり通すこと」

「愛を持って笑顔で楽しむこと」

「目標や希望を持つこと」

「自分の鈍感力を信じること」

を心にがんばります！

8月～10月のイベント情報

- 8月5日(日) 初JICA二本松 オープンハウス! ←下にポスター
- 8月8日(水) 15:10～17:00公開講座「イスラム教とは何か」
(於: JICA二本松)
- 8月9日(木) 15:10～17:00公開講座「環境と開発」
(於: JICA二本松)
- 8月16日(木) 中南米地域別研修「医療機材管理・保守」コース 修了式
15:10～17:00公開講座「異文化の理解と適応」
(於: JICA二本松)
- 8月20日(月) 留学生セミナー「地域社会における環境保全の取組」
コース開始
- 8月23日(木) JICA新入職員二本松研修～8/24まで
- 9月4日(火) 「鶏飼養管理・生産技術」コース開講式
- 9月7日(金) 15:10～17:00公開講座「地球のステージ」
- 9月13日(木) 平成19年度協力隊 第2次隊修了式、壮行会
- 10月1日(月) 19年度秋募集始まる!
平成19年度10月1日～11月9日まで
- ☆☆海外ボランティア相談窓口開設☆☆
- 青年海外協力隊&シニア海外ボランティアのこと、国際協力のこと、
などなど何でも相談受け付けています。お気軽にご連絡ください!
電話 0243-24-3200 (代表) メール jicanjv-bk@jica.go.jp
担当 岡田 麻紀(福島県出身です!元協力隊です!)
- 10月10日(水) 平成19年度協力隊 第3次隊派遣前訓練 入所式
- 10月14日(日) ふくしま地球市民フェスティバルinあいづ

「路上の物売り」



JICA国際協力中学生・高校生
エッセイコンテスト2007

自分のできることをなんだろう

募集期間: 6月8日(金)～9月12日(水)

世界のみんなが幸せになるために
一冊が出来ること、考えること...

応募方法: 郵送、FAX、Eメールのいずれか
1. 応募 2. 審査 3. 発表

ユース国際協力ミーティング2007
育ちつみよう! ちもひきり 国際ボランティア会

参加者募集

今日時: 2007年9月28日(土) 12:30～17:00 (15:00 3時退場予定)

会場: JICA二本松 4階3号会議室 (二本松市永田字長坂4-2)

参加費: 5000円 (会場費、資料費)

申込締切: 2007年9月28日(土)

環境～はじめよう。地球に、わたしに、やさしい生活。

青年海外協力隊 3万人突破記念!

ようこそ! JICA二本松へ 入場 無料 雨天 決行!

8月5日(日)

夏のオープンハウス!

不都合な真実

タイムスケジュール	内容
11:00	オープニング
11:00～12:00	ネイチャーツアー①
11:30～13:00	映画「不都合な真実」上映①
11:30～	流しそめん
13:30～15:00	隊員生活技法講座5コース 先着各20名! ミニ語学講座12言語 先着各5名!
13:30～15:00	映画「不都合な真実」上映②
14:00～15:00	ネイチャーツアー②
15:30	フィナーレ

編集後記

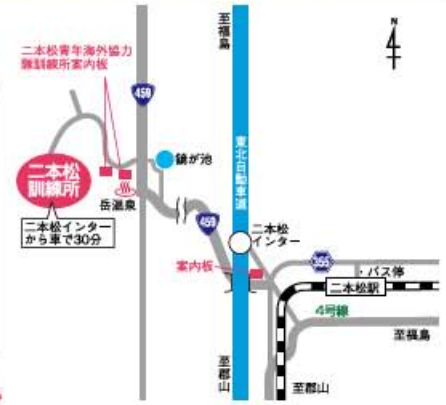
訓練所のベランダで「キセキレイ」が子育てを始めました。
5つあった卵のいくつかが孵化し、産毛だらけの雛が親鳥に餌をせがんでいます。
初夏の「あたたら」で、バードウォッチングをしてみませんか?
— (ジャイ男)

キセキレイの雛 ▶

JICA二本松へのアクセス

独立行政法人国際協力機構
二本松青年海外協力隊訓練所

〒964-8558
福島県二本松市永田字長坂4-2
TEL: 0243-24-3200
FAX: 0243-24-3214
E-mail: jicanjv@jica.go.jp



※皆様からのご意見等をお待ちしております。

◆本誌、バックナンバーをご覧になれます... URL <http://www.jica.go.jp/branch/ntc/jimusho/newsletter.html>

